

Mizuho Bangkok Daily Market Report

Dated of 2025/07/11

Forex

	Close	CHANGE
USD/THB	32.60	-0.09
JPY/THB	0.2229	-0.0005
USD/JPY	146.26	-0.07
EUR/THB	38.14	-0.15
EUR/USD	1.1701	-0.0019
USD/CNH	7.179	-0.004
SGD/THB	25.48	-0.04
AUD/THB	21.48	0.12
USD/INR	85.65	-0.04
USD Index	97.65	0.10

Bond

	Close	CHANGE
5Y (THB)	1.395	0.000
10Y (THB)	1.543	0.000
5Y (USD)	3.934	0.028
10Y (USD)	4.350	0.018

Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	3,325.7	4.7
WTI (Oil)	66.57	-1.81
Copper	9,700.5	70.0

Stock

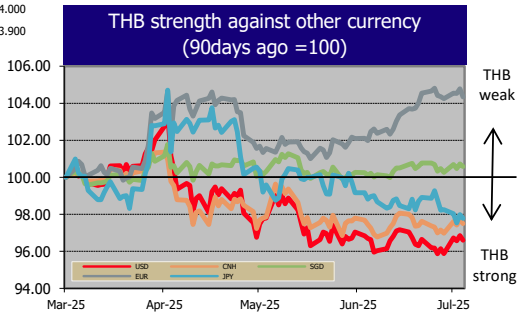
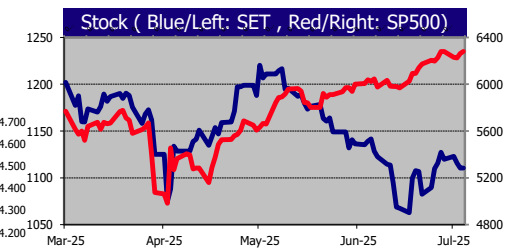
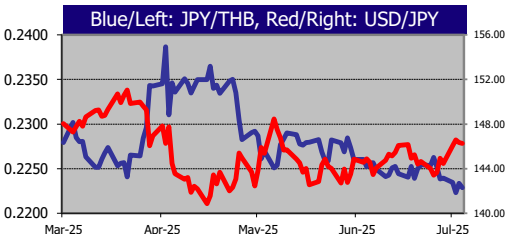
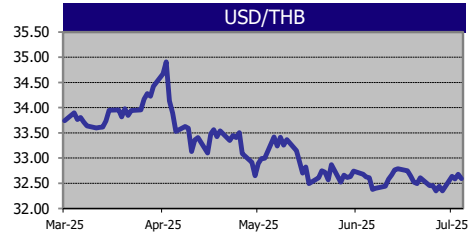
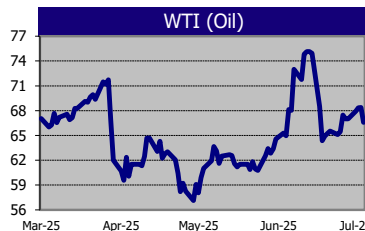
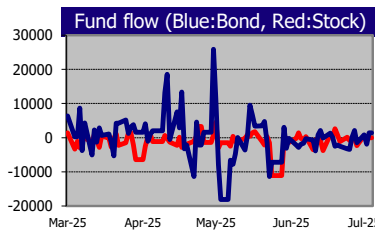
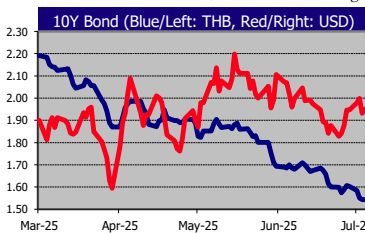
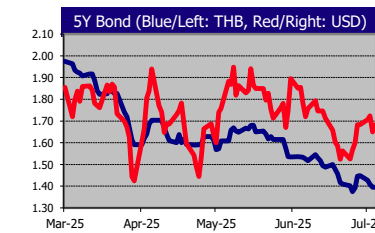
	Close	CHANGE
SET (TH)	1,110.40	0.00
NIKKEI (JP)	39,646.36	-174.92
DOW (US)	44,650.64	192.34
S&P500 (US)	6,280.46	17.20
SHCOMP (CN)	3,509.68	16.63
DAX(GER)	24,456.81	-92.75

Fund Flow (Overseas Investors)

	Close	CHANGE
Stock net flow	7	0.0
Bond net flow	1,452	0.0

*compared with previous day

(Source: Bloomberg)



Yesterday's market summary

●ドルパーツ

9日(水)、及びタイ休日となった昨日のドルパーツは、方向感に欠ける推移となった。9日、32パーツ半ば付近で取引を開始すると、一時32パーツ台後半まで上昇する場面を見せるも、米金利の低下等が重しとなり、反落。以降は米国によるブラジル製品や銅への関税を巡る報道も相俟って10日に入っても上値の重い推移が続いた。同日海外時間、米失業保険申請件数が市場予想対比良好な結果となったことから上昇に転じるも、勢いは続かず、終盤にかけて32パーツ台半ばまで戻し、結局32.60レベルでクローズを迎えた。

●ドル円その他

9日(水)、及び10日を通じ、ドル円は小幅に下落。9日、146円台後半の水準で取引を開始すると、バンコク時間午前中には一時147円台に乗せる動きを見せるも、滞空時間は短く、早々に146円台に戻すと以降は上値重く推移。同日海外時間に公表されたFOMC議事録(6月17-18日開催分)も特段のサプライズはなく、相場への影響は限定的に。10日、関税を巡る報道に全般的にドル売りが進行する中で一時145円台後半まで下落幅を拡大させるも、以降は米金利の動きに連れて146円台半ばまで戻し、米経済指標の結果等を横目に同水準付近で上下しながら、結局146.26レベルで引けた。

Bangkok Dealer's Eye

9日に発表されたタイの6月消費者信頼感指数は46.7となり前回5月分から低下。5か月連続で前月比悪化しており消費者心理の悪化が続いていることが見て取れる。6月後半にかけ政治的に混乱していたこともあり、消費者心理が悪化したことに違和感はない。加えて、足元では8月より36%の米関税が賦課される可能性も依然としてあり、7月分の同指標も悪化が継続するか。消費者心理が悪化すれば当然、消費の後退を受けインフレ率にも下押し圧力がかかろう。今週発表されたタイの6月コアCPIは前年同月比1.06%となり2か月連続で中銀の定めるインフレターゲットレンジの下限1%を上回る結果となった。しかしながら、今後の対米貿易交渉の動向次第ではさらなる消費者心理の悪化も免れないと考えられ、景気悪化・インフレ低下に対応するために利下げに踏み切る必要性も高まりやすいだろう。年内の追加利下げの可能性は引き続き十分にあるものと考えておきたい。(綱島)